

小学校5・6年生～

2023年3月 no.85

2023

よんでネット*

春号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



福音館書店

[E・絵本のコーナー]

さん ほう いち りょう ぞん
三方一両損

こう だん
(講談えほん)

たからい きん ちよう
宝井琴調 文
ささめやゆき 絵

え じ
江戸の町で、三両の金が入った財布を拾った金太郎。
持ち主を探して届けるが、落とした吉五郎は「落として
しまえばもうおれのものじゃねえ」と受け取らない。二人は
大げんかとなり、ついには奉行所にうたえることに。
奉行の大岡越前が下した裁きとは？

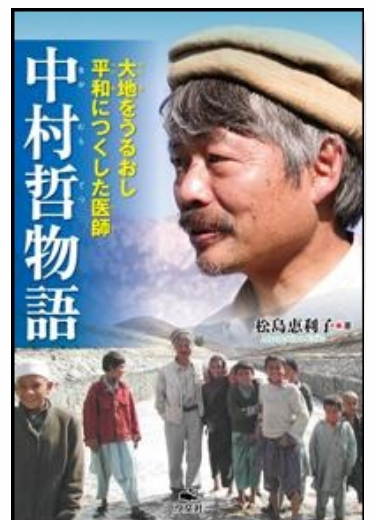
こう だん
※ 講談・・・日本でおきた昔の事件や出来事、活躍した
人たちの物語をおもしろおかしくおしゃべりする芸能

ほか
他にもシリーズの本があります。

なか むら てつ
中村哲物語

たい ち へいわ
大地をうるおし平和につくした医師
松島恵利子 著

戦争や干ばつに苦しむアフガニスタンで医療支援を行って
いた中村哲先生は、それだけで飢餓に苦しむ人々を救
えないと、白衣を脱ぎ捨て、井戸を掘り、用水路を作り、
大地をうるおした。それにより65万人もの命を救った。
残念ながら先生は2019年暴漢におそわれ命を落とすが、
現地の人々の思いに寄り添った先生の気持ちは受けつがれ、
工事は進められている。



汐文社
[28ナ]



めぐりめぐる ジーニー・ベイカー 作 わだすなお 訳

オオソリハシシギはわたりヒリです。北のすみかアラスカから南のすみかオーストラリアやニュージーランドまで、休むことなくとびつづけます。無着陸飛行の最長記録をもつ鳥で、日本でも見ることができます。

「おおむかしから いききてきた しるしもないみちをたどるたび」
小さな鳥たちのめぐりめぐる地球の旅、さあ出発です。

ホリフォニープレス
[E・絵本のコーナー]

アーマのうそ

キャロル・ライリー・ブリンク 作
谷口由美子 訳 堀川理万子 絵

「あたし、世界一大きな人形を持ってる。あたしくらいの背があって、あたしの服が着られるの」アーマが友だちにふとついてしまった「うそ」は どんどん ふくらんで…。クラスみんなが、その大きな人形をお祭りで展示しよう！と言いだしました。今さら「うそです」なんて言えません。このピンチ、アーマは どう切りぬけるでしょう？



文溪堂 [933ブ]



かがやけ! 虹の架け橋

漆原智良 著

3・11大津波で3人の子どもを失った夫妻の物語

東日本大震災でわが子三人を失った石巻の遠藤夫妻。生きる望みを失いかけたふたりを支えたのは、木工遊具「虹の架け橋」の製作だった。木工職人の遠藤さんは思う。「あの日、流した悲しすぎるなみだ。そのなみだが雨になり、そのあとに出てきた虹。人々との思いが虹のようにつながって今を生かされている。(中略)「虹の架け橋」を見ることによって、天国にいる子どもたちの存在を、ここにいても、感じとることができる。」…と。

アリス館
[36ウ]